

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 技術家庭・技術分野 ）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫・配慮の程度はどうか。 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど課題を解決する力を養うための工夫・配慮の程度はどうか。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
2	「コンパスぶらん（第4期名古屋市教育局教育振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。 「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。 「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3 内 容	(1) 内容の選択	人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。 社会の変化に対応し、日常生活に役立つための教材の選択についての程度はどうか。また、実践的・体験的な学習活動ができるような工夫の程度はどうか。
	(2) 内容の程度	生徒の生活実態に即し、持続可能な社会の構築に向けた現代の社会生活や科学技術の進歩への対応について内容の適切さはどうか。また、補充的な学習や発展的な学習の内容の適切さはどうか。
	(3) 内容の構成	系統的に組織・配列され、他教科等と関連付けながら学習活動が深められるような工夫の程度はどうか。また、学校、地域の実態に応じて、指導計画を弾力的に運用できるような工夫の程度や補充的な学習や発展的な学習の分量の適切さはどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	実習等における安全面への配慮の適切さはどうか。また、本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等の関連や目次・索引・注・凡例・諸表・資料等の適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 技術家庭・技術分野）

観点	発行者	東京書籍		教育図書		開隆堂	
		評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
1	学習指導要領との関連	○	技術の原理・法則や基本的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで科学的な根拠に基づく知識が習得できるように工夫されている。		「見つける・学ぶ・ふり返る」が基本配列となっており主体的な学習、学習理解の確認ができるようになっている。また、別冊「スキルアシスト」を活用することにより、確かな技能が身につけられるよう工夫されている。		実習を行う際には、科学的な原理・法則などを踏まえて計画・設計し、身体的な技能などを用いて具体的なものが創造できるように工夫されている。
			問題解決例のページは、技術による問題解決をどのように進めていくかを分かりやすく示すために、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自ら問題解決に主体的に取り組むことができるように工夫されている。		生徒に親しみのある漫画を用いた問題解決の流れを学べるページを設け、生徒が主体的に問題解決に取り組めるようにしている。また、問題解決の手順を丁寧に示すことで、技術を生かした問題解決能力を育めるよう工夫されている。	○	各内容で共通して、社会における技術に気づき、基礎的・基本的な知識および技能の習得を通して、社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるよう工夫されている。
		○	技術の見方・考え方を「技術のめがね」「最適化の窓」として示して「環境の負荷」について常に考えさせるとともに、環境に関連する内容には「環境」マークを付し、環境保全や省エネルギーに寄与する態度が養われるように配慮されている。		持続可能な社会を実現するための目標を示すことで国際社会と協調することの大切さを理解し、考えられるようにしている。SDGsの目標のマークを関連する学習内容に付けて日本や世界で起こる諸問題を、自らに関わる課題として捉えられるようにしている。		各内容の最後では、社会と環境と技術の関わりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し、主体的に活用しようとする態度を育めるようにしている。また、技術に関する職業の理解を深め、職業観・勤労観を育めるようにしている。
2	「コンパスぶん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	○	幅広い難易度の問題解決例を豊富に揃え、授業時数や生徒の技能に応じて選べるようにしている。また「TECH Lab（テックラボ）」は基礎的・基本的な技能をまとめて掲載し、いつでも確認できるようにしている。		幅広い自習題材をそろえ、時間数や生徒の技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応できるようになっている。また、本文を補足したり応用したりする内容が資料やコラムに記述されている。	○	「技術分野の学習の流れ」のページで技術の学び方が分かり、各内容のとびらでは、学習する内容の「学習の流れ」が分かるようになっている。実習例も複数の題材を示しており、選ぶことができるよう工夫されている。
		○	問題解決例は「あったらいいなを形にしよう」など魅力的な多彩なテーマを設定し、生徒や学校の実態に応じて選択できるようになっている。また、様々な思考ツールを取り上げ、生徒が主体的に、また協働的に学習活動に取り組めるように配慮されている。		章のまとめでは設計・計画、計画・育成のまとめをグループで発表し合うことで、対話的な活動を通じて自らの設計を振り返り、深い学びを実現できるように配慮されている。また、各内容の「やってみよう」としてグループで学び合う問いかけが設けられている。		実験や学習課題などで、協力し、結果を話し合って検証するような協働的な活動ができるように配慮されている。また、生徒の目が地域に向くように、地域の技術について取り上げた写真や話題などを豊富に使用し、多様な人との関わりを促すように配慮している。
		○	『「あったらいいな」を形にしよう』など、魅力的なテーマ例を掲げ、テーマに沿った豊富な問題解決例を取り上げることで主体的に取り組めるよう工夫されている。		「スゴ技」や「技ビト」のコラムを取り上げることで生徒が生活や社会で使われる技術について興味・関心をもてるよう工夫されている。	○	適所に配置している「実験」や「やってみよう」などの活動を通して、他者との関わり合いをもちながら、技術の理解を深めることができるように工夫されている。
3	(1) 内容の選択	○	男女が協力して作業する姿を写真やイラストで示すとともに登場する男女の比率や役割に偏りがないように配慮されている。	○	登場する男女のイラストや写真の数、役割、服装などに偏りがないように配慮され、車いすが必要な生徒が作業しやすい環境づくりについても取り上げている。	○	キャラクターは異国をルーツとする生徒や男女の割合など多様性にも配慮され、生徒が関心・意欲をもって学習に取り組めるように工夫されている。
		○	基本題材と参考題材を配列し、各学校の授業時数、地域の実態に応じて題材を選べるように配慮しており、各内容10以上の題材を紹介している。		基本題材で問題解決と技能を学んだ後、身近な問題を解決するための方法が例示されている。また、日常生活につながった題材を扱っている。		実習例は、基本となる実習から参考、応用的なものまで、いずれも生徒が関心・意欲をもって取り組めるような多様な例が扱われている。
	(2) 内容の程度	○	技術の進歩によって生活がどのように変化したかを紹介しながら、技術が生活や社会を支えていることを伝え、技術分野の学習の意義や社会との関連について具体的に示している。		ガイダンスでは私たちの暮らしを支えている技術の事例を紹介し、どのような技術が利用されているかを考えることができるように工夫されている。	○	各教科の出口では、これからの技術について考えさせるような話題が取り上げられ、将来的にも技術に関心や課題意識をもてるように工夫されている。
	(3) 内容の構成		各節の始めには「始める活動」と「学習課題」を設け、課題意識をもって毎時の学習に取り組めるようにしている。また、各節の最後には「まとめる活動」を設け、学習したことをまとめたり、生活に生かすことができたようにしている。		各内容の1章、2章（情報の技術は2・3章）3章、（情報の技術は4章）が学習指導要領の（1）（2）（3）、情報（4）に対応していることで、系統的な内容の配列で、評価の行いやすい構成になるよう工夫されている。	○	「技術分野学習の流れ」のページで技術の学び方が分かり、各内容のとびらでは学習する内容の「学習の流れ」が分かるようになっている。また、適所に「問題解決」や「進め方」が俯瞰できるページがあり、学習の見通しが付けやすいようにしている。
4	タブレット端末の活用	○	インターネットを活用して効果的に学習を進めるためのQRコンテンツを用意し、該当箇所にDマークを付している。QRコンテンツはWEBページから無料配信され、授業で活用できるように工夫されている。	○	二次元コードを実習題材や別冊「スキルアシスト」の各ページに付することで、動画を閲覧して学習を深め、理解をより確かなものにする工夫がされている。	○	全ての学習課題に学習コンテンツが収録されており、学習課題を理解し、解答できるように工夫されている。さらに、各内容の出口の学習課題では、小項目全体を解説しており、技術の評価・活用を適切に理解できるよう配慮されている。また、二次元コードにより生徒の関心に応じた個別最適な学びを実現できるよう工夫されている。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	○	生徒が意欲的に学習に取り組めるように、イラストや写真、レイアウトを工夫し、楽しい紙面になるようにしている。専門的な用語については側注や脚注などで生徒が理解しやすいように解説を補足している。また、本文は敬体を用いて簡潔明瞭に表現している。		実習を進める上で、安全で正確な技能を習得したい時に参考にできる別冊「スキルアシスト」が付属しており、実習を効果的に進められるように配慮されている。また本文は敬体、図版のキャプションは常体をとすることで差別化している。	○	学習場面と関連付けて随所に安全マークを用いることで安全に作業することを促している。各内容とも基礎的・基本的な事項が習得できるように、要点を押さえて系統的かつ詳しく丁寧に記述されている。また、重要語句は太字にして、表記のめりはりを付けている。
6	印刷・造本等	○	書体は全てユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性を高めるように配慮されている。また、3年間の使用に十分耐えうるよう表紙は汚れにくく、強度を高めるための加工が施されている。	○	書体はユニバーサルデザインフォントを使用している。印刷は明るく目に優しい色遣いで生徒の負担にならず読みやすい工夫がされている。また、3年間の使用に十分耐えられるように製本されている。	○	色覚特性に配慮されている。また可読性の高いユニバーサルデザインフォントを全面的に使用している。用紙は薄く丈夫な上に軽量化されており長期の使用に十分耐えられるものとなっている。

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書「各教科固有の追加調査事項」（種目名 技術家庭・技術分野）

発行者 事項	東京書籍		教育図書		開隆堂	
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
技術の見方・考え方をふまえた内容になっているか	○	ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることで技術の見方・考え方に気付き、働かせられるようになっている。キャラクターのせりふは、技術の見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒の深い学びを実現できるように工夫されている。		各内容のはじめには、「見つける」の生徒同士、生徒と先生の対話によって技術への関心を喚起して、生徒が自覚的に技術の見方・考え方を働かせるようにしている。また、問題解決の手順を丁寧に示すことで、技術の見方・考え方を形成できるようにしている。	○	ガイダンスのページでは、技術の見方・考え方を取り上げ、しくみの最適化について紹介している。各内容においてもそれを深めるような構成になっている。また、各内容で既存の技術を、技術の見方・考え方で読み解く活動がワークシート形式でできるようになっている。
技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深められる工夫がされているか	○	ガイダンスでは、技術の進歩によって生活がどのように変化したかを紹介しながら、技術が生活や社会を支えていることを伝え、技術分野の学習の意義や社会との関連について具体的に示している。また学習の最後に、どのような資質・能力が身に付いたかを確認するコーナーを設けている。		ガイダンスでは、私たちの暮らしを支えている技術の事例を紹介し、どのように技術が利用されているかを考えることができるようにしている。また、各内容の3章（情報の技術は4章）では、「未来をつくろう」と位置づけ、技術の誠実な活かし方について記述している。	○	各内容共通して、社会における技術に気付き、基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、社会や環境と技術との関わりについての理解を深められるように工夫されている。また、各題材とも、実験などを通して科学的な視点を育てる配慮が十分されている。
生活や社会に関する問題を解決する内容になっているか	○	「問題の発見→課題の設定→設計・計画→製作・制作・育成→評価、改善・修正」といった一連の問題解決のプロセスをガイダンスで丁寧に説明するとともに、各内容の2章（情報の技術は3章）は、このプロセスに沿った構成になるよう工夫している。		各章の冒頭に、生徒に親しみのある漫画を用いた問題解決の流れを学べるページを設け、生徒が主体的に問題解決に取り組めるようにしている。また、生徒が自ら主体的に問題解決に取り組むことができるよう幅広い題材例が紹介されている。		各内容は「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。これによって主体的に学ぶ力、創造する力を養えるように配慮されている。

※ 事項ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。